

緑が丘

—「自分できめる」「みんなと決める」—
～今日も「学校が楽しかった」～



令和8年 2月 2日発行 三木市立緑が丘小学校

鬼は外！ 福は内 ～準備をしよう～

1年で最も厳しい寒さが訪れる大寒から立春。「寒い」「寒い」と口
にしている間に、樹木の蕾が膨らみ、春に向け準備を進めています。

さて、2月6日から22日まで、第25回オリンピック冬季競技大
会、その後パラリンピックがイタリア北部の都市ミラノとコルティナ・ダ
ンペッツォで開催されます。各種競技での各国代表選手による競い
合う姿、活躍が楽しみです。加えて、本大会では、新しい競技やサス
テナビリティが話題になっています。

サステナビリティ(Sustainability)とは、自然環境や社会、健康、
経済などが将来にわたって、現在の価値を失うことなく続くことを目
指す考え方で、日本語では「持続可能性」と訳されます。

「成功の秘訣は、何よりもまず、準備することだ」(ヘンリー・フォード/
自動車王)、「準備を怠ることが、失敗の準備をしているのと同じだ」
(ベンジャミン・フランク/アメリカ建国の父)「準備というのは、言い訳
の材料となり得るものを排除していく、そのために考え得る全てのこ
とをこなしていく」(イチロー/元プロ野球選手)等、準備の大切さを説
く言葉がたくさんあります。「目的の明確化」「ゴールからの逆算」「余
裕をもったスケジュール」「具体的なタスクのリスト化」といった準備から精神的な余裕も生まれます。

1月末には、児童会の新役員を決める選挙が行われ、子どもたちも4月からの自分の姿に向け、準備を少しずつ進め始めました。また次年度より、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度 以下CSと表記)を導入いたします。子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の充実が不可欠です。CSは、「学校運営協議会」を核とし、学校、保護者、地域住民が知恵を出し合い、一体となって学校づくりを進める仕組みです。学校と地域住民、保護者が「どんな学校にしたいか」を共有し、連携・協働する仕組みです。地域の豊かな経験や技能を教育に活かせるため、子どもたちの生活が充実し自己肯定感が向上するほか、より安全・安心な地域づくりや防犯体制や子育てのつながりの強化等につながることを期待されています。

「鬼は外、福は内」。みんな、邪気や病気、災いなどの悪いものを外に追い出し、無病息災や幸福を家や学校、地域に迎え入れる春を迎えましょう。そのためにも、サステナブルな学校をめざし、みんなで知恵を出し合う場づくりに向けた準備を進めているところです。

まずは心も体も元気な毎日、心も体も元気な学校。

今を充実させることが次への準備です。(校長 佐野 順子)

おまじない
みみず みつお

こわいとき となえる
おまじないがある
じぶんにもかかって
こういうんだ

「おい、ぼくよ
ぼくがいるから
だいじょうぶ
ぼくがいるから
だいじょうぶ

すると
ぼくがふたりいるみたいで
げんきになる



くどうなおこ『のはらうた』より

